

◆ 番組概要

2500年間、東アジアを規定してきた大思想がどのようにして生まれたのか？
今、明らかになる！！



<「孔子」と「論語」>

孔子は、古くから伝わる考え方や歴史を「書経」「春秋」「礼記」などの書物にまとめていったとされているが、「論語」に関しては、弟子や孫弟子たちが孔子の考えを元にまとめたといわれている。「論語」の価値は、12世紀の宋代、儒教の改革者・朱熹（朱子）によって高められ、以降、朝鮮王朝（韓国・北朝鮮）、江戸幕府（日本）、明代・清代（中国）では庶民にも必須の教育書とされた。

日本で一斉を風靡した「いしだ壱成」が、孔子の最愛の弟子「顔回」を熱演！

「ひとつ屋根の下」「未成年」などで、日本全国を席巻した「いしだ壱成」。本作品でも、地上波にて視聴率をとり続けた演技力は健在。監督が第一印象で決定したという顔回役は、まさに適役。孔子に最も忠実であるがゆえに、「論語」の基礎をつくったといわれる顔回の演技に注目。

中国歴史ドラマの最高水準、製作費10億円のダイナミックなスケールの作品！

今年、中国歴史ドラマの新たな地平を開いた「三国志Three Kingdoms」が95話で25億円の製作費。本作品は、35話で10億円の総製作費。ダイナミックな撮影所にて繰り広げられる戦闘シーンと膨大な文献に基づく論語の引用の数々は、論語読者でなくとも納得できる説得力を持つ。

近年、日本で出版界を中心に大ブームを起こした「孔子・論語」の決定版！圧倒的な世界観を持つ「孔子・論語」の世界が、出版界を中心に注目され、毎月1冊大手出版社で新作が出版されている。

本作品は、書籍上の「孔子・論語」ブームの決定版として、書籍読者は勿論、潜在的な関心層をも取り込める作品である。

ストーリー

今から2500年前、春秋時代末——諸侯が戦いを繰り上げ、戦火はますます激しくなる時代。

現在の山東省西南部にあたる魯の国。父を亡くし、母と共に暮らす少年・孔子は、伝統的な祭儀の様を真似するなど、昔の周の時代の礼節を取り入れて、人が安心して穏やかに暮らせる世界を作り上げる夢を持っていた。青年になった孔子は、馬の世話役など下積みをしながらか読書に励む。36歳になり、三大貴族の三桓氏の一つである孟孫氏に見いだされた孔子は、魯の為に制度改革を提案するが、反対にあい、自ら齊の国に移動する。隣国・齊では、君主には気に入られるが、些細なことがきっかけで宰相に嫌われたため、再び、魯に戻る。

魯で私塾を開いた孔子は、52歳になり大抜擢され、理想の国に向けて大いに力を発揮する。しかし、齊の陰謀に魯の君主や三桓氏が引っ掛かり、失望した孔子は再び魯を脱出し、14年間の亡命生活を余儀なくされる。

68歳になり、魯に帰った孔子は、73歳までの生涯を弟子の育成に専念し、「論語」に代表される、現代にまで影響を与える儒教の教えを広め続けた。

【制作】2011年 中国 佛山電視台（ぶつざんでんしだい）

監督・プロデューサー：ハン・ガン（「宰相劉羅鍋」「開国大典」）

脚本：ハン・ガン、ジョン・ジンジン、スイ・ドン